

日本地質学会第117年学術大会 講演プログラム (口頭)

■9月20日 (月・祝) 午前

会場	① (C11)	② (C12)	③ (C13)	④ (C21)
			(シンポ) 魁! 海底地盤変動塾	(シンポ) 故勘米良亀齡追悼: 造山帯を読み解く
			座長: 山本由弦 (8-10), 山田泰広 (11-13), 川村喜一郎 (14)	座長: 西 弘嗣 (44-46), 酒井治孝 (47-50) (44-46,49), 磯崎行雄 (47,48,50)
9:00			<p>9:00 S-8 シンポジウムに魁けて, 川村喜一郎</p> <p>9:10 S-9 (招待) 海溝陸側斜面のスラストベルト発達, 小川勇二郎</p> <p>9:35 S-10 南海トラフのジルコン・フィッシュントラック, Ryo Anma, Hideki Iwano, Toru Danhara, Toru Yamashita</p> <p>9:50 S-11 (招待) 高メタンフラックス陸棚斜面での海底地すべり, 森田澄人・中嶋 健・花村泰明</p> <p>10:10 S-12 (招待) AUVうらしまによる焼津沖海底地すべり, 馬場俊孝・柏瀬憲彦・百留忠洋・松本浩幸・金田義行・佐野 守</p> <p>10:30 S-13 (招待) 海底地すべりと津波, 阿部郁男</p> <p>10:55 S-14 (招待) 海成粘性土の工学的特性, 田中洋行</p> <p>11:20 討論とコメント, 芦寿一郎・金松敏也・小川勇二郎・山田泰広</p>	<p>S-43 (取消)</p> <p>9:05 S-44 (招待) スラスト帯形成のモデル実験, 山田泰広</p> <p>9:15 9:20 S-45 (招待) 三波川帯は四万十帯, 青木一勝・磯崎行雄・丸山茂徳・大藤 茂</p> <p>9:30 9:35 S-46 (招待) 島弧沈み込みと構造性浸食, 山本伸次・丸山茂徳</p> <p>9:45 9:50 S-47 (招待) 太平洋型造山運動, 丸山茂徳</p> <p>10:15 10:20 S-48 (招待) チャートの起源, 西 弘嗣</p> <p>10:35 10:40 S-49 (招待) 石灰岩とフズリナ, 磯崎行雄</p> <p>10:55 11:00 S-50 (招待) 西南日本の基本構造, 斎藤 真・宮崎一博・利光誠一</p>

※シンポジウムの講演には (S), トピックおよび定番セッションの講演には (O) の通し番号がついています。
※講演タイトルはスペースの都合上略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

■9月20日 (月・祝) 午前

会場	⑤ (C22)	⑥ (D21)
	(シンポ) 富山深海長谷	(シンポ) 21世紀モホール：マントル掘削計画
	座長：高野 修 (1-3), 中嶋 健・高野 修・金子光好 (4-7)	座長：足立佳子 (57-61), 齊藤 哲 (62-65)
9:00	9:00 趣旨・概要説明	9:00 趣旨説明.
	9:05 富山深海長谷の地形と堆積作用. 中嶋 健・金子光好・徳山英一・平 朝彦 S-1	9:05 モホールに向けて -掘削候補地の選定-. 島 伸和・富士原敏也・阿部なつ江・小平秀一・巽好幸・海野 進・荒井章司 S-57 (招待)
	9:30 上越埋没海底谷群の三次元サイスミック地形学的解釈. 古川稔子・高野 修・佐伯龍男 S-2 (招待)	9:20 マントル掘削に向けた地震学的研究. 小平秀一 S-58 (招待)
	9:50 気候に規制された富山深海長谷のタービダイト. 中嶋 健・片山 肇・板木拓也 S-3	9:35 オマーンオフィオライト構成岩石の地震波速度. 齊藤 哲・石川正弘・柴田 聡・秋月龍之介・有馬 眞・巽 好幸・荒井章司 S-59
	10:10 北信越地質構造発達史. 竹内 章 S-4	9:50 マントル掘削に必要な大水深・大深度掘削技術開発の現状紹介. 山尾正起 S-60 (招待)
	10:40 新潟～信越堆積盆の堆積テクトニクス史と深海堆積システム. 高野 修・中嶋 健 S-5	10:05 海洋地殻-モホ遷移帯の空間変化. 宮下純夫・足立佳子・宍戸拓磨・橋本瑛久 S-61
	11:05 富山トラフにおける地質構造および堆積形態. 金子光好・花村泰明・中西 敏・門沢伸昭 S-6 (招待)	10:20 オフリッジ火山とモホ遷移帯. 海野 進・下司信夫・岸本清行・石塚 治・笠谷貴史・熊谷英憲・浅田美穂・後藤忠徳・宮下純夫・富永雅子 S-62
	11:35 富山深海長谷の発達史. 中嶋 健・金子光好・高野 修 S-7	10:35 マントル中に存在する有機物. 三村耕一 S-63 (招待)
		10:50 クロミタイト：海洋マントル掘削の新たなターゲット？ 荒井章司 S-64
		11:10 最上部マントル希ガス不均質. 熊谷英憲・荒井章司・Kurz Mark D.・Dick Henry J.B. S-65 (招待)
		11:25 ポスター発表概要
		11:40 総合討論

■MEMO■

※シンポジウムの講演には (S), トピックおよび定番セッションの講演には (O) の通し番号がついています。
※講演タイトルはスペースの都合上略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。

■9月20日 (月・祝) 午後

会場	① (C11)	② (C12)	③ (C13)	④ (C21)
	(定番) 地域地質・地域層序	(トピック) 地球史とイベント大事件5	(定番) テクトニクス	(定番) 変成岩とテクトニクス
	座長：斎藤 眞 (73-76), 吉田孝紀 (77-80), 濱田崇臣 (81-83)	座長：小宮剛 (1-4), 山口耕生 (5-8), 清川昌一 (9-12)	佐藤活志 (152-156), 大坪 誠 (157-161)	座長：岡本敦 (206-209), 河野義生 (210-213), 桑谷立 (214-217)
14:00	O-73 岐阜県大垣市赤坂石灰岩中部ベルム系のSr同位体詳細化学層序. 小福田大輔・磯崎行雄・可児智美	O-1 上部トリアス系チャートから発見したスフェール. 佐藤峰南・尾上哲治・中村智樹	O-152 月のテクトニクス. 山路 敦・小林敬生・押上祥子・熊本篤志・山口 靖・小野高幸	O-206 高圧変泥質岩中の安定なNa相鉱物. 瀧野佑衣・榎並正樹
14:15	O-74 呉羽山断層の高分解能反射法地震探査. 稲崎富士・相澤隆生・伊東俊一郎	O-2 14:15 トリアス紀中期の彗星起源宇宙塵. 尾上哲治・中村智樹・原之園岳志・安田知佳	O-153 14:15 月の詳細地形から推定されたグラーベンの地下構造モデル. 上岡周平・山路敦・佐藤活志・春山純一・大竹真紀子・松永恒雄	O-207 14:15 MRFモデルを用いたP-T経路の精密決定. 桑谷立・永田賢二・岡田真人・鳥海光弘
14:30	O-75 14:30 長野県の新しい地質図. 富樫 均・新版長野県地質図作成委員会	O-3 14:30 南中国における初期カンブリア紀のジルコンU-Pb年代. 岡田吉弘・澤木佑介・小宮剛・高畑直人・平田岳史・佐野有司・丸山茂徳	O-154 14:30 Sr同位体層序年代から求めた北大東島の隆起速度. 井龍康文・高柳榮子・石川剛志・Budd A. David	O-208 14:30 鉱物と局所平衡にある粒間流体中の非線形拡散. 西山忠男
14:45	O-76 14:45 新潟県中越地域の新第三系-第四系のNW-SE走向横断層. 豊島剛志・神保かほり・平松 翠・栗田裕司	O-4 14:45 南中国エディアカラ紀の有機と無機炭素同位体比から示す炭素循環. 田畑美幸・菊本亮平・澤木佑介・石川智子・上野雄一郎・小宮剛・西澤学・吉田尚弘・丸山茂徳	O-155 14:45 秋吉帯・超丹波帯の碎屑性ジルコンと夜久野岩類のジルコンの比較. 早坂康隆・宮本隆實・木村光佑・隅田祥光	O-209 14:45 せん断クラックと交代作用. 鳥海光弘・福山繭子
15:00	O-77 15:00 八ツ場ダム周辺域における地質と断層系. 中村庄八	O-5 15:00 鉄同位体比層序. 澤木佑介・田畑美幸・西澤学・小宮剛・丸山茂徳・平田岳史	O-156 15:00 ジルコン年代学による西南日本ジュラ紀～白亜紀整然層の後背地. 勝部亜矢・早坂康隆	O-210 15:00 角閃石のバラクリスタラインマイクロブーデインの発見. 増田俊明・尾吹萌・桑谷立・大森康智・木村希生・岡本敦・鳥海光弘
15:15	O-78 15:15 下総層群多古チャネル埋積層の花粉組成. 中里裕臣・佐藤弘幸	O-6 15:15 エディアカラ紀における有機窒素同位体比変動. 菊本亮平・西澤学・田畑美幸・澤木佑介・高井研・丸山茂徳・小宮剛	O-157 15:15 休憩	O-211 15:15 大町海山蛇紋岩の変成作用. 植田勇人・平内健一・新井田清信・白杵直・メシェーデ マーティン・YK08-05研究者一同
15:30	O-79 15:30 葛生地域石灰岩にみる中期ベルム紀の炭酸塩生産生物相. 川村寿郎・上野 喬・奥村よほ子	O-7 15:30 南中国のE/C境界層から得られた脂肪酸炭化水素. 山田健太郎・上野雄一郎・山田桂大・小宮剛・吉田尚弘・丸山茂徳	O-158 15:30 宮崎層群下部の小断層スリップデータを用いた古応力逆解析. 藤内智士・佐藤活志・山路敦	O-212 15:45 蛇紋岩化反応に伴う溶液組成の時間変化. 岡本敦・小笠原由一・土屋範芳
15:45	O-80 15:45 坂本沢層産前期ベルム紀腕足類. 新谷友彦・田沢純一	O-8 15:45 原生代前期のグリーンストーン帯に残された海底堆積層序. 清川昌一・伊藤孝・坂本亮・池原実・山口耕生	O-159 16:00 クラック方位分布への柔軟な確率モデルの当てはめと古応力推定. 佐藤活志・山路敦・藤内智士	O-213 16:00 シュードタキライト中に発達する「斜方輝石フリレンジ」. 上田匡将・小畑正明・小澤一仁
16:00	O-81 16:00 姫神山安山岩の層序とK-Ar年代. 鈴木真悟・山元正継・大場 司・近藤 梓	O-9 16:00 DXCL掘削報告4: 32億年前の黒色頁岩中の黄鉄鉱層について. 坂本亮・清川昌一・伊藤孝・池原実・奈良岡浩・山口耕生・菅沼悠介	O-160 16:15 日本海拡大のプレートダイナミクス. 新妻信明	O-214 16:15 Knippaかんらん岩捕獲岩の異方性. 佐津川貴子・道林克禎・RayeUrmidola・AnthonyElizabeth・PulliamJay・SternRobert
16:15	O-82 16:15 天塩平野における段丘の変動傾向. 酒井利彰・井岡聖一郎・石島洋二	O-10 16:15 太古代の堆積岩に含まれるパイライトの局所鉄同位体分析. 吉屋一美・西澤学・上野雄一郎・小宮剛・丸山茂徳・吉田尚弘・平田岳史	O-161 16:30 中新世下仁田構造帯の形成. 高橋雅紀	O-215 16:30 トンガ海溝におけるマントル最上部由来の岩石の構造岩石学的研究. 新海優里・道林克禎・石井輝秋
16:30	O-83 16:30 野外調査データのデジタル取得の試み. 吉川敏之	O-11 16:30 三段階動物進化モデル. 小宮 剛		O-216 16:45 高圧下における部分溶融したかんらん岩の弾性波速度測定. 河野義生・井上 徹・入船徹男・肥後祐司
		O-12 16:45 25~27億年前の生態系と環境の多様性. 山口耕生・Andy Czaja・Clark Johnson・Brian Beard・Jen Eigenbrode・Kate Freeman		O-217 17:00 脆性領域での非地震性クリープ速度の天然変形岩からの見積もり. 竹下 徹・森 政蔵

※シンポジウムの講演には (S), トピックおよび定番セッションの講演には (O) の通し番号がついています.
※講演タイトルはスペースの都合上略記版を掲載しています. 正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください.

■9月20日 (月・祝) 午後

会場	⑤ (C22)	
	(定番) 海洋地質	
	座長：池原 実 (89-93), 野田 篤 (94-98)	
14:00	14:00	O-89 IODP第322次研究航海基盤岩の岩石学. 佐藤暢・斎藤実篤・久保雄介・UNDERWOOD MIKE・IODP Expedition 322 Shipboard Scientific Party IODP Expedition 322 Shipboard Scientific Party
	14:15	O-90 母島海山と小笠原海台のIODP掘削提案. 石渡明・井龍康文
	14:30	O-91 伊豆・小笠原弧前弧域, 母島海山から採取されたMORB様玄武岩. 岡村 聡・八東 翔・坂本泉・金 容義・東 豊土・池田保夫
	14:45	O-92 IODP Exp.320/321 赤道太平洋年代トランセクトの概要. 山崎俊嗣・Acton Gary・Channell James・Evans Hellen・Ohneiser Christian・Richter Carl・山本裕二・Delany Margaret・Gussone Nikolaus・Hathorne Ed・木元克典・沢田研・山本真也・IODP Expedition 320/321 Shipboard Science Party
	15:00	O-93 25°S OCC断層岩類の変形微組織. 曾田祐介・澤口 隆・根尾夏紀・森下知晃・中村謙太郎・熊谷英憲・YK05-16乗船研究者一同
	15:15	O-94 中新世末期～鮮新世における北部小笠原トラフ内での火成活動. 向山建二郎
	15:30	O-95 地震動による海底の擾乱と堆積. 芦寿一郎・池原研・坂口有人・川村喜一郎・村山雅史・山野誠・中村恭之
	15:45	O-96 鉄沈殿環境. 永田知研・清川昌一・坂本亮・竹原真美・池原実・小栗一将・後藤秀作・伊藤 孝・山口耕生
	16:00	O-97 後期鮮新世の北半球水床発達に伴う海水準変動と堆積環境の変化. 池原 実・北 重太・近藤康生・岩井雅夫
	16:15	O-98 北海道北西方沖日本海の地質構造. 荒井晃作

	⑥ (D21)	
	(定番) 古生物	
	座長：奈良正和 (162-167), 須藤 斎 (168-174)	
14:00	14:00	O-162 北谷層産恐竜足印化石. 田中郁子・東洋一・加藤道雄・藤田将人
	14:15	O-163 大阪府高槻市の下部更新統より産出した大型イシガメ科. 平山 廉・樽野博幸・園田哲平・角谷大輔
	14:30	O-164 岐阜県可児市の瑞浪層群から産出した哺乳類の足跡化石群. 鹿野勤次・藤岡比呂志
	14:45	O-165 日本列島におけるナウマンゾウの移動. 近藤洋一
	15:00	O-166 <i>Cremnoceramus</i> 属 (イノセラムス科) の産出とその意義. 高橋昭紀・本田豊也
	15:15	O-167 始新世/漸新世界に起きた海生珪藻キートケロス属の多様化. 須藤 斎
	15:30	休憩
	15:45	O-168 中新世古地理・古生物地理. 松原尚志
	16:00	O-169 台湾の鮮新～更新統の貝形虫化石. 鈴木俊之・石田桂・保柳康一
	16:15	O-170 6,300年前に起きた突然の海洋気候変動. 北村晃寿・山本なぎさ・石村豊穂・入野智久・角皆潤・小林小夏・玉置周子
	16:30	O-171 現生腕足動物の殻の炭素・酸素同位体組成の個体差. 高柳栄子・浅海竜司・大竹二雄・阿部理・北川浩之・井龍康文
	16:45	O-172 顕微鏡赤外分光法による化石・現生原核生物ドメイン識別の試み. 伊規須素子・高井 研・上野雄一郎・下嶋美恵・中嶋 悟・太田啓之・丸山茂徳・磯崎行雄
	17:00	O-173 個体発生変異の形態測定学：アンモノイドの例. 生形貴男
	17:15	O-174 現世生痕学と古生痕学. 奈良正和

■MEMO■

※シンポジウムの講演には (S), トピックおよび定番セッションの講演には (O) の通し番号がついています。
※講演タイトルはスペースの都合上略記版を掲載しています。正しいタイトルは講演要旨集をご覧ください。